

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ

ウィークリー・リポート

Weekly Report

2017~2018 年度 第 52 期会長テーマ

『継続するための変化と多様性』

例会日 毎週 木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 2-23-4F
T E L 0572-25-5100
F A X 0572-25-5101
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
H P http://tajiminishi.jimdo.com
会 長 加藤 真左子
幹 事 山田 正史



ロータリー：
変化をもたらす



第 2497 例会 2018 年 3 月 1 日

3 月は水と衛生月間

本日のプログラム

点 鐘

国歌斉唱 君が代
ロータリーソング 奉仕の理想
四つのテスト

ビジター紹介 会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

理事会報告 幹事報告

卓話者紹介 会計 森田誠君

卓 話

とうしん地域活力研究所所長 伊藤光昭様

「事業承継・M&Aについて」

点 鐘



卓話者のご紹介

伊藤光昭様

平成 17 年 4 月 江南支店 支店長
平成 20 年 1 月 八田支店 支店長
平成 22 年 6 月 旭ヶ丘支店 支店長
平成 25 年 1 月 瑞浪商工会議所出向
平成 28 年 1 月 100 周年プロジェクトチーム部長
平成 28 年 6 月 常勤理事
平成 29 年 6 月 とうしん地域活力研究所所長

3 月例会行事予定

1 日	とうしん地域活力研究所 伊藤光昭様
8 日	卓話 副会長担当
15 日	振替休会
19 日	3 市 5 R C 親睦合同例会
22 日	2500 記念例会 お祝い例会
29 日	第 53 期各委員会活動計画

10 日 (土) 会長エレクト研修セミナー (PETS)

17 日 (土) ~ 19 日 (月) 台湾苗栗 R C 表敬訪問

22 日 (木) 第 53 期第 1 回クラブアッセンブリー

時間 : 18:00 場所: 松正

会長挨拶

加藤真左子

多治見西 RC は 3 月 22 日に 2500 回目の例会を迎えます。昭和 41 年 6 月の創立以来、年間に 48 回程度の例会を行ってきました。つまり、クラブのメンバーには 48 回またはそれ以上顔を合わせ、食事を共にしていることとなります。「ロータリーの友」2016 年 8 月号に「例会出席は義務ですか？楽しみですか？」という記事がありました。皆さんはどちらですか？例会出席はロータリーの三大義務とありますが、しかし、例会の頻度に変更を与えられた現在では感じ方が違うのではないのでしょうか。この記事の中では、「楽しいことがあるから例会に出席する」ようになって頂きたい・・・とあります。毎週の例会で先輩も後輩も含めた仲間と一緒に楽しく話しながら食事や勉強し、お互いを高め合う時間は大変貴重で楽しい瞬間ではないのでしょうか。

冬期オリンピックに夢中になった 2 週間、悲喜こもごもの場面をご覧になったことでしょうか。そして、選手たちと一緒に泣いたり笑ったりされたと思います。また、彼らから学ぶこともありました。「keep smile」「keep positive」これはカーリング女子の言葉でした。また「あきらめた時が失敗」との言葉もありました。何といても素晴らしい笑顔には癒された方も多はずです。ロータリークラブにおいてもメンバーに会って笑顔で挨拶し、また言葉を交わすことが大切であると思います。2500 回を超え、会員を増やし、新しい笑顔を見つける努力が必要です。そだね～！！

そして keep smile and positive！！

●出席報告

会員数 37 名 免除者 4 名 出席義務者 33 名

出席者	欠席者	出席率
23 名	10 名	70.0%

●スマイル報告

投函者 16 名 金額 20,000 円

2 月の合計 59,000 円

2 月末残高 620,000 円

小瀧康裕君入会式

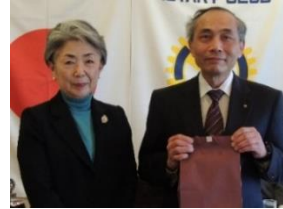


この度、石垣先生のご紹介でロータリークラブに入会することになりました。今から 14 年前に亡くなった父が西クラブさんに数年在籍しておられて、その節は皆様に大変お世話になりました。改めてお

ありがとう



礼申し上げます。タイル関係の仕事に従事していますが、自分自身がセールスマンという現状で東京、静岡、福岡を飛び回っております。毎回例会に出席できるか心配しています。皆さんにもご迷惑をおかけするかもしれませんが一生懸命やらせていただきますのでよろしくお願い致します。



2 月のお誕生日

関谷泰久君

2 月 14 日生



職業奉仕研究セミナー報告

次期 R 情報委員長 関谷泰久

2 月 25 日（日）、岐阜都ホテルにて、職業奉仕研修セミナーが開催されました。事務局の小坂さんから出席とその報告書の作成の依頼を受け、時間的には余裕がありましたので、引き受けさせていただきました。しかし、この報告書の作成の段になって、「大変なことを引き受けた」と、少し後悔しております。多治見西ロータリークラブからは、石垣パストガバナー、佐藤八郎ガバナー補佐、山田正史ロータリー財団部門・資金管理小委員会委員長の 3 名が、出席されておりました。又、地区の職業奉仕部門委員長は、多治見リバーサイドロータリークラブの山本和彦さんがつとめてみえました。報告を見て、「何を聞いてきたのか？」とお叱りを受けるかもしれませんが、ご容赦願います。

全体のセミナーの流れは、服部パストガバナーの 1 時間の基調講演の後、休憩を挟んで、質疑応答 1 時間半という形でした。基調講演の内容は、「ロータリーの扉を開く言葉」と、「ロータリー語ときあかし辞典」という資料をもとにして行われましたが、この資料が大変よく出来ています。逆に言えば、この 2 つの資料さえ読めば、基調講演の内容がすべてわかります。前者は、リーダー編となっておりますが、入会年度の若いメンバーにも是非読んでいただきたい資料です。「ロータリーについて」「職業奉仕について」「例会について」簡潔にわかりやすく解説してあります。すべてがわかります。是非、ご一読下さい。ここで、その内容については書ききれませんが、一つだけ、例会に関する文章を、紹介させていただきます。「例会が開かれるから、あなたは出席するのではない。あなたが出席するために、例会が開かれる。」是非、この資料を読んでいただくことをお願いして、セミナーの報告とします。